

令和4年4月13日

第45回わんぱく相撲墨田区大会感染防止対策案

わんぱく相撲墨田区大会実行委員会

実行委員長 藤崎 剛暉

【感染対策】

(参加者、引率者)

- ・参加選手の引率は1家族1名限定とし、各学校からの引率も1名とする。
- ・参加選手全員に受付時に抗原検査キットを配布し、その場で検査を実施。
陽性疑いの場合には選手本人及びそのご兄弟含め大会参加不可とし、病院にてPCR検査の実施を推奨する。
- ・参加申し込みの際、本人と引率者の大会当日まで過去7日間の体調チェック表を提出。
2日以上37.5℃以上の発熱が1度でもあった場合は大会参加不可とする。また、新型コロナウイルス感染者との濃厚接触者についても参加不可とする。・参加者は試合以外マスクの着用を必須とする。・当日会場にて具合が悪くなった場合は、すぐに医師に相談し、適切な処置を行う。

(運営スタッフ)

- ・運営スタッフ全員がマスクの着用、こまめな手指の消毒を行い、土俵回りのスタッフはフェイスシールドも着用。

(会場)

- ・受付及び各土俵にアルコール消毒液を設置し、受付・入場時は必ず手指消毒を行う。
- ・1年生から学年ごとに予選から決勝戦、表彰式まで完結し密にならないよう配慮する。
- ・土俵の周りにフェンス等を設置し選手以外の入場を制限。
- ・割り振られた学年ごとの試合時間以外は入場不可。

(環境消毒)

- ・学年が変わるごとに土俵、その他手が触れる場所の消毒の徹底。
その他、記載のない内容は公益社団法人日本相撲連盟の「相撲における競技会再開ガイドライン」に従い開催する。